

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	17 - デ学 - 11
-----------------	--------------

平成 17 年度配分 研究成果の概要

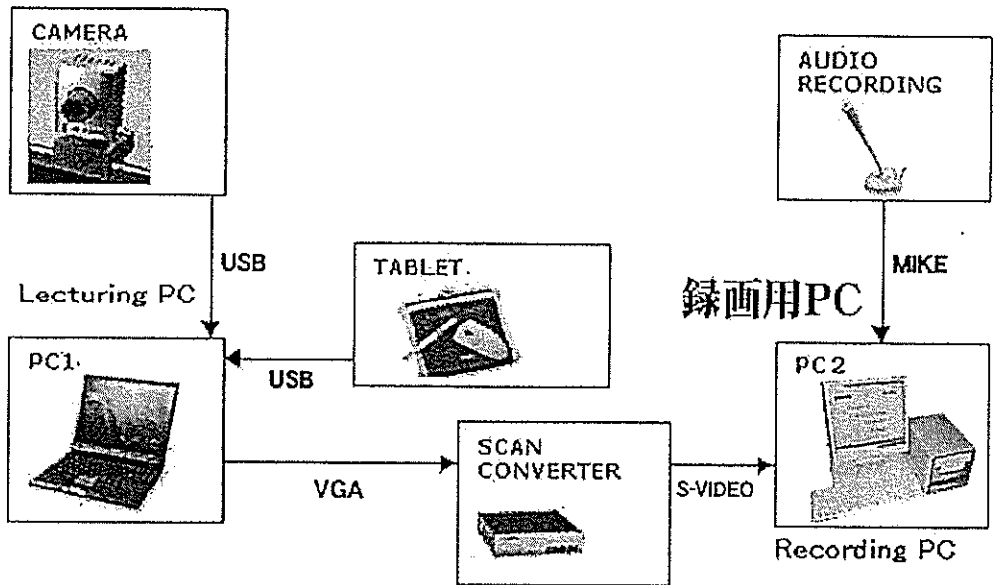
研究名	「ストリーミングデジタルビデオによる Web 授業と そのための e-ラーニングシステム」				
配分を受けた 特別研究費	デザイン学部長特別研究費				950 千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏 名	共同研究の 場合の分担
	デザイン学部	技術造形学科	教授	望月 達也	
共同 研究 者					
発表の方法 (予定で可)	1 紀 要		号 数	第 号 (年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名: 6 th China-Japan International Conference on History of mechanical Technology and Machinery-Design 2006		発表日 (予定日)	平成 18 年 10 月 30 - 11 月 2 日	
	3 その他 発表の方法: ① 日立グループ モノづくり改革セミナー 主催 日立システム		発表日	平成18年 6 月 14 日	
	② CREATIVE WORLD 2006 主催 クリエイティブワールド実行委員会		発表日	平成18 年7月 7 日	
③ SUAC デザインセミナー 「デジタルものづくり」 主催 静岡文化芸術大学		発表予定	平成 18 年 8 月 23,24 日		

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

本研究ではストリーミングデジタルビデオ技術を活用してWeb 授業を試作し、そのためのe-ラーニングシステムを構築する。具体的には、コンピュータを使用する授業(CAD 演習 I、II、III)を対象にソフトウェアの取り扱いやモデリング技法をデジタルビデオのコンテンツとして作成し、それを授業の副教材として使用しながら、その効果を評価する。

(研究の実施方法等)



図に Web 授業のためのコンテンツを作成する方法を示す。この方法は、2 台のコンピュータを使用する。一つは、教員が授業で使用するコンピュータである。このコンピュータの画面信号(VGA)をスキャンコンバータで S-Video 信号に変換し、もう一つのコンピュータで録画するというものである。それから、マイクロホンから音声を録画用のコンピュータに入力する。この方法の特徴は、教員が授業をしているそのままを録画することができるということである。したがって、Web 授業と通常の授業とは同じシラバスでよいことになる。

(得られた成果等)

CAD 造形演習 III、II において、Web 授業用のコンテンツを用いて試行している。その結果、学生の能力や理解度に応じて自己の学習ペースで学習できること、教員は学生の疑問点や理解できないところを個別指導できることが確認できた。

来年度以降、CAD スキルアップの部分に Web 授業をさらに活用したい。